

田中青滋作
杵屋喜多六作曲
西川鯉三郎作舞

長唄 宿の月 亀太郎 特別出演西川流四世家元 西川千雅

つる

西川 鯉

昭和三十年の西川会で初演して話題になり、その後大歌舞伎でも、又今年は(公社)日本舞踊協会公演でも取り上げられ家元が熱演されました。

いくら好きで一緒になっても時が来れば飽きがるものです。そんな倦怠期を迎えた夫婦の姿をコミカルに描いた楽しい作品です。

最初は「天下晴れての夫婦！」とルンルン気分。ところが時がたつにつれて甘いムードも何処へやら。そこで亭主が一芝居うつという話で、狂言風のおおらかな味付けが何よりの一編で第 22 回の曙會を千種楽とさせていただきます。

